

## 重要（2019年度検定試験より適用）

2018年6月15日

AW 検定受験事業所御中

AW 検定協議会  
会長 早野裕次郎

### AW 検定工場溶接試験運用規定の隅肉溶接試験免除規定の改定について

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般、工場溶接試験運用規定に定める「隅肉溶接試験の免除規定」を2019年度検定試験より大幅改定することになりましたので、その改定内容、運用方法（経過的移行措置）等をお知らせいたします。

2019年度以降に受験される各位におかれましては、同封資料をご確認のうえ免除資格の取得に留意して頂くようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 工場溶接試験運用規定第6条隅肉溶接試験免除規定改定内容

現行基準：JIS Z3801-1997（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）

改定基準：（一社）日本溶接協会

WES8101-2017（すみ肉溶接技能者の資格認証基準）

#### 2. 同封資料

隅肉溶接試験新免除規定の解説及び切り替えのスケジュール

以上

## 資料(改定についての説明書)

発行：2018年6月15日

AW検定協議会

AW検定を受験する皆様へ

### AW検定(建築鉄骨溶接技量検定) 隅肉溶接(A種)試験【新免除規定】の解説

はじめに

2019年4月1日より、工場溶接隅肉溶接(A種)試験の免除規定を【新免除規定】に改定します。この新免除規定は、適用する免除資格が従来の「手溶接技術検定における試験方法及び判定基準 JIS Z 3801」から日本溶接協会「すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101」に変わります。また、この改定に併せて期間を限定した「経過措置」を設けています。

実務において隅肉溶接のほとんどがガスシールドアーク半自動溶接で行われている実態から、(隅肉溶接試験の免除)についてもガスシールドアーク半自動溶接を含むように改定しました。

#### 【新免除規定】について

2019年4月1日から運用されるAW検定では、(隅肉溶接試験の免除)の対象者は、(一社)日本溶接協会「すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101:2017」に規定されている下記表の資格保有者となります。

すみ肉溶接技能者の資格認証基準 WES8101:2017		
①	被覆アーク溶接	Fi1-HとFi1-Vを共に保有している者
②	マグ溶接	SFi1-HとSFi1-Vを共に保有している者

上記表の①か②のどちらかに該当する者が免除の対象となります。被覆アーク溶接とマグ溶接の資格を組み合わせること(例:Fi1-HとSFi1-V)は対象とはなりません。また、WES8101:2017にはFi1-0やSFi1-0など上向き水平すみ肉も規定されていますが【新免除規定】の対象とはなりませんのでご注意ください。

#### 「経過措置」について

2019年4月1日からは【新免除規定】となりますが、経過措置期間(2019年4月1日から2022年3月31日までの間)は旧免除規定によることができます。ただし、無駄なくスムーズに移行するためJIS Z 3801の適格性証明書は「登録年月日」が2020年3月31日までのものを有効としています。2020年4月1日以降に登録された証明書は免除の対象とならないのでご注意ください。また経過措置期間が終わる2022年4月1日以降は【新免除規定】に完全移行します。よって、経過措置も終了するので、証明書の「有効年月日」が残っていても免除の対象とならないのでご注意ください。

# 改定資料(改定についての説明書)

隅肉溶接(A種)試験  
 【新免除規定】切り替えのスケジュール

発行:2018年6月

